

# 福祉環境委員会記録

令和3年4月5日（月）  
08時58分～10時22分  
全員協議会室

【委員】柳楽委員長、村武副委員長

沖田委員、小川委員、岡本委員、佐々木委員、田畑委員、澁谷委員

【議長・委員外議員】西川議員

【事務局】中谷書記

---

## 議題

1 取組課題「子育て支援について」（委員間で協議）

2 その他

【議事の経過】

( 開 議 08時 58分 )

柳楽委員長 | ただいまから福祉環境委員会を開会する。出席委員は8名で定数に達しているので、直ちに進めていきたい。

1. 取組課題「子育て支援について」(委員間で協議)

柳楽委員長 | 前回、保育所へのヒアリングの実施という話をしていた。それも必要なことだと思うが、その前に市が把握している貧困などの状況を担当課に聞いてから、実情をわかった上で行かせていただくほうがよいのではないか。市の状況がわからずに行くよりも、実態もある程度わかっていたほうがよいのではと正副で話したのだが、皆はどう思われるか。

岡本委員 | 私も賛成だが、これまでも貧困については執行部に何度も聞いた経緯があるが、個人情報の意味合いからかなりオブラートに包まれていた。執行部の回答はかなりファジーで、あるようなないような言い方をされるが実際はある。それを皆の頭に入れておいていただきたい。

柳楽委員長 | 例えば給食費について、収入が少ない世帯に対しては軽減されていることもあると思う。例えば就学前にランドセルを買うための費用を助成されている、そういった方たちがどのくらいおられるのかなども聞いておいたほうがよいかと思う。

| 担当課に確認しておいたほうがよい項目があれば今言っていたけると、執行部から資料提供をしていただこうと思う。

澁谷委員 | 全国の貧困家庭は政府の発表によると15%である。浜田の場合は20%を超えていると思うが、その数字をどう捉えているか、担当課の意見は聞きたい。あとは状況をもとに説明を聞くしかないのでは。

小川委員 | 恐らく担当課は直接該当者の方々と接している関係で、子育て支援に対する要望なども出ていると思う。しかし予算もかかるし実現がなかなか難しいということで、あまり具体化されてない課題がたくさんある気がする。率直な声が出ているなら紹介してもらいたい。

田畑委員 | 貧困の定義。一般質問でもあったが、浜田市においては夫婦で300万円以下の世帯が43%あるというデータが出ている。シングルになるとその半分以下になって相当厳しい状況だろうとは思いますが、行政も相対的な話しかできないと思う。この委員会としてどう対応できるか。いろいろな角度から考えないと。執行部が言えること言えないこと、また個人情報のことも大いにある。

柳楽委員長 | そのほかに確認する事項としては、市の貧困率と対応される中でどういった相談・要望があるのかの確認でよろしいか。あとは正副委員長で中身を考えさせていただくということでもよろしいか。

( 「はい」という声あり )

了解した。

ではできるだけ早目に担当部署の話を伺うよう日程調整したい。保育所のヒアリングについてはその後となると思う。

とりあえずヒアリングで保育所に確認していただく内容を、ということだったので、1点目にコロナ禍での子どもの変化の状況。2点目に保護者にとってコロナの影響がどういうものか。3点目は保育現場の状況。この3点について伺ったらどうかと正副で話したのだが、そういった内容でよろしいか。

前回、アプリの視察に行っていたときに表のように皆にお渡ししたが、そういった形で書き込んでいただき結果報告をしていただけたらと思う。

田畑委員

保育園のヒアリングとして3点書いてある。これは悪いことではないと思うが、そうはいつてもこの委員会の任期が半年余りとなると、その間に方向性が示せることではないと。次期の委員会に引き継ぐようなことはよろしくないと思う。このメンバーで結論を出して、市長に提言などの方向性が導き出せるものでないとよろしくない気がする。

柳楽委員長

改選後の委員会に引き継ぐのはあまりよくないのでは、という意見があった。この問題について執行部への確認や保育所のヒアリングなどをするのだが、多分それだけの調査では全く不十分だと思う。したがってこれを任期まででまとめるのはなかなか難しい点もあるかと思う。ヒアリングする中で、前回の母子手帳アプリなどのような必要性のあるもの、緊急的にこういった支援が必要なのだというものが見えてくれば、それはそれで要望という形で提出することもあるかと思う。私自身はそういう方向で考えている。この問題全体をまとめるというのはなかなか難しいと思っている。

皆はそれについてはいかがか。

岡本委員

私も同じ考えである。執行部から貧困率などいろいろ聞いて、そこへ注視すると問題が大きくなる。しかし我々が知っておかなければいけない情報。このたび我々が対応しようとしているのはコロナ禍においてどのように変化してきたか。その変化にどのような形の支援が必要かというところに落ち着くだろう。そうしないと任期中には無理だと思う。皆でその腹入れをしておかないと、ここに持っていこうとした問題が、ある日突然こっちに行ってしまうと、着地点がなくなってしまう。その辺の進行をよろしく願います。

柳楽委員長

そのように進めさせていただけたらよいと私は思っているが、そういう方向でよろしいか。

( 「はい」という声あり )

了解した。では一応ヒアリングなどを通して、緊急に対応すべき問題などが出てくれば、それに対して要望など行っていくことにさせていただきたい。

あと、保育所なのだが、全施設となると難しいかと思うのだが、

岡本委員

それについてはいかがか。ペアでという話も前回出ているが。一人一人よりはペアのほうがよいか。

ペアのほうが視点を変えていろいろ質問できるので、そうしていただきたい。

前回私は自宅から最寄りのところが聞きやすいからそこへ行きたいと発言をした。とはいえ固まってもいけないので、正副委員長から各園に対して、議会からのヒアリングを受け入れてもよいかどうか打診してもらうのもありかと思う。漏れたところは次回に行くと申し送りをする形のほうが、全市的な動きとして表現できるのでよいかと思う。そういう形はいかがか。

柳楽委員長

二人ずつで回ると、例えば一つのグループが2、3か所くらいになるかと思うが、それぞれの地域に漏れなく割り当てられるようにこちらで組みわせていただく。グループは母子手帳アプリのときと同じでよいか。

( 「はい」という声あり )

それでこちらで割り当てをさせていただきたい。保育所との日程調整などは各グループでやっていただきたい。ご都合があると思うので委員間で調整して、保育所とも調整していただくようお願いしたいが、よろしいか。

( 「はい」という声あり )

そのように願います。

田畑委員

ヒアリングに行くのに、どこの保育園でもよいというわけではない。正副委員長で、例えば浜田市内であればどこの園など決めていただかないと。

柳楽委員長

正副委員長でどこの保育所にこのグループに行っていくと、という形をお願いしようと思うので、その後の調整は委員間で願います。

では1点目の保育所へのヒアリングの実施については、委員からほかに意見があるか。

岡本委員

保育所となっているが、私立幼稚園などはどうするか考えるべきでは。幼稚園やこども園も加える必要があるのではないか。

柳楽委員長

そこも正副委員長で協議し検討材料とさせていただく。

ほかに保育所ヒアリングの件で意見はあるか。

( 「なし」という声あり )

では2点目、子どもの貧困について市の対応状況、窓口、各課の連携体制などを先に話してしまったが、これは担当課にお願いして、いろいろな担当部署があるのではと思うので、その辺を執行部と確認しかかわりのある担当職員に説明していただくようにしたい。この点はまたお知らせする。

岡本委員

担当がわからないとのことだが、子育ての中で特に気になる子、貧困も含めて、保育園・小学校・中学校が連携する書類があるらしい。その所管課に来ていただければ状況が聞けるのではないか。配

- 柳楽委員長 慮をお願いする。  
確認して、連携体制の状況がわかるのならその話も伺えるよう考えていきたい。  
ほかにはよろしいか。  
( 「はい」という声あり )  
では3点目、PTA連合会との意見交換について。沖田委員、その後の状況はいかがか。
- 沖田委員 浜田市PTA連合との意見交換についてだが、今会長と連絡を取って確認したところ、5月15日に新旧の正副会長会があると。今年のPTA連合会の正副会長だけでもよいが、正副が集まる場所で投げかけたほうが、より幅広い年代からの意見を聞けるのではと会長から投げかけられ、5月15日に福祉環境委員会から、皆と意見交換がしたいと申し入れし、賛同者を募ろうということになっている。  
というのも、今年はたまたま子どもの年代にかなり偏りがあるので、私もそれがよいのではと思って話を進めている。
- 柳楽委員長 そうなると5月15日に協議されて、皆に賛同いただけるかどうかもあるのかと思うが。
- 沖田委員 浜田市PTA連合会は年に1度、市長表敬訪問と、その後に市役所との意見交換会がある。かつては年2回あった。市議会とは接点がなかったので、改めてよいのではと。会長は前向きな反応だった。
- 柳楽委員長 それでは5月15日のPTA連合会の会合の状況によって、その後の意見交換については沖田委員と連携を取らせていただきながら進めていきたい。日程は皆にお聞きしながら進めたい。  
タブレットに東中学校PTAが行われたアンケートも入っているので皆に確認していただきたい。
- 沖田委員 生徒数が159名、保護者数が134世帯だったと思う。それらを対象にアンケートを行った。
- 柳楽委員長 PTAの方と意見交換をする中でアンケートの中身も参考にしながら、どういったことが大変だったかもわかると思うので確認していただきたい。  
ここの項目には上げていないのだが、最初に提言に向けてやってきた項目がある。その中でこれはやっておいたほうがよいのではないかという項目は、やっていきたいと思うのだが、いかがだろうか。  
子育て世代包括支援センターなのだが、細かい内容までがやはりわかりにくい。相談体制などもきちんと部屋を設けてされるようになっていたので、一番重要だと思っている相談体制についてはきちんと考えておられるようなので、ここでどの項目を提言していくかが難しい。先日正副で話をしているときも確認したら、きちんとされている項目も結構あった。包括支援センターの中身については、今は提言をするようなところが。  
私がずっと言っている学校経験者の配置について、皆からご意見をいただきたい。

三重県亀山市の子育て世代包括支援センターでは、教員経験者、校長先生などもされた方がセンター長として入っておられた。何よりも学校との連携がよくわかっておられるのでスムーズにできるということで。いじめやほかにも問題を抱えておられる子どもさんもだし、保護者も気軽にセンターに相談に行ける。頻繁に来られる方もあると伺った。そういう意味では、もちろん保育関係の方も保健師も必要なのだが、教育現場を知っておられる方の配置は重要ではないかと思っているのだが、そのことについて。

岡本委員

学校との連携は青少年サポートセンターが担当では。あそこの指導員は全員教職員経験者なので、そういう意味なのかと。あえて言うなら、青少年サポートセンターと子育て支援センターの連携は取るべきではないか、ということが一つの提案になると思ったのだがどうか。

柳楽委員長

岡本委員の言われたように、そういった関連機関が幾つかあるのだと思う。それぞれの役割をされているのだろうが、そこがまとまることも必要なのではと私は思っている。機関的なことがあるので難しいのかもしれないが、今の子育て世代包括支援センターに教員経験者をというのとは、普通にいろいろな相談に来られる方がいる中で、学校の状況もわかっておられる方ということで。青少年サポートセンターとは違った状況の対応も主になっていると思うので、一般的な相談対応ができるという意味で、子育て世代包括支援センターにもそういう方が必要かと思う。

できればそういった相談はできるだけ一つに集約されるほうがよいのではとも考えるのだが、役割が違うこともあるかもしれないのでそのあたりは難しい点もあるのかと思っている。

皆の意見が、今の時点で子育て世代包括支援センターに教職員経験を配置する必要は特にはないのではないかというのであれば、ここについては私も断念しようと思うし、また違う場でやっていきたい。

澁谷委員

委員長の言っていることがわからない。教員免許を持ったり、教員経験者が必ずしも相談体制のレベルが高いとは思っていない。非常に志の高い校長先生もおられるし、可不足なく退職したい校長もいる。いろいろな方がおられるので、学校教職員経験者がそこに来たからといって。本当に能力の高い人がいるならよいがその辺がよく見えない。

柳楽委員長

澁谷委員が言われることもよくわかる。そこに就く人がすごく大事なところなのだと思うが、執行部もここにどういった人材が必要なのかはわかると思う。そういった意味で難しいのであれば、今回の要望や提言にはこの点は入れないこととしようと思う。皆の率直なご意見を伺いたい。

岡本委員

委員長がいう教職の方というのは、いわゆる相談を受けても連携しやすい環境にある人がよいのではないかという意味で言っておら

柳楽委員長

れると思うが、そもそもアプリもそうだったが、保護者は悩みをどこに相談したらよいのかというくくりで、委員会でも追求していく。市の相談窓口はどのように系統化されて、スムーズに連携して次のセクションへ案内ができるよう整備がされているのかを整理すれば、その部分も解決できるのでは。そういう研究も必要ではないか。相談窓口が市民にとって必要だというなら、そこを追求されないか。

それをまた委員で研究となるとまた広がっていくかと思う。その点についてはこちらで執行部に確認して、どういった窓口があってどういうつなぎ方をしているかを集めて皆に提供したいと思うが、それでよろしいか。

( 「はい」という声あり )

澁谷委員

先ほど私がお話しした亀山市の状況についても以前委員会で視察しているので、その報告書を確認してどういった体制を取られているか、また皆にお示しするので考えてみていただきたい。

委員長が言われた学校の先生経験者というのと、それはソーシャルワーカーではいけないのか。専門家ならよい気がするが。

柳楽委員長

結局、学校内部の状況がわかっておられるので、より学校との連携が図りやすいのかと。この話は保育連盟との意見交換のときに来ておられた先生に、意見交換終了後にそのことについて確認させていただいたが、その先生もそれは必要なことなのだろうと思うと言われた。やはり相談体制にそういう方を入れるのは必要なのかと思ったので、この意見を出させていただいていた。また三重県亀山市の資料も提供させていただくので願います。

ではその件に関しては資料提供をさせていただくということで。

あと地域支援の項目についてはどうだろうか。すごく大事な部分ではあると思っているが。とりあえず地域支援の部分も結構幅広いので、なかなか難しいところはあるかもしれないが、これまで出ていた意見ではまちづくりセンターが今スタートしているので、そういったところとの連携といったことも出ていた。

皆に確認してこの項目もやめるなら、話が進みやすいかと思う。これまで出ている項目、アプリについてはもう要望書で出したので、子育て世代包括支援センターは他市の事例を見ていただき、3番目の子育て地域支援についての項目は今後検討の中身にはしないか。

( 「外す」という声あり )

外すという意見があるが、地域支援については今回は外してしまうということでよろしいか。

( 「異議なし」という声あり )

ではこの項目もやめてしまうということで。子どもの救急外来の件は実態がなかなか確認できないので難しい面が。多分、病院から実態の報告をしていただけないのだと思う。ではもう一度確認していただく。

吉賀町の視察の話も出ているが、吉賀町は高校生まで医療費の自

己負担なしとされている。人口が全然違うので、それをそのまま当市でというのは難しい面もあるかと思うが、後でその資料も見ていただきながら。

この部分で#8000の話が出たが、これについては担当課には、ここを皆にしっかり周知していただき必要でない救急外来の受診を少しでも抑制できるような形になればよいかと思うので、ここはしっかり訴えていきたい。ほかの項目で要望や今後提言という形にまとまるのであれば、この部分は付随して要望したいと思うのだが、皆はそれについていかがだろうか。厚生労働省がやっている子ども医療電話相談事業で、そこそ利用はあるようだが浜田市の子育て世代がどこまでこれを知っているかはわからないので、今後も周知を徹底していただきたい。これはメインにはならないと思うが、最後のあたりに、このこともやっていただきたいといった形に。

以前調べたときに選定療養費を払わなくてもよいようにしている自治体があった。そこは市立の病院なのでそういう形が可能になっている様子で、それを民間にというのも難しいのかと思う。この部分についても、先ほどの地域支援と同じで少し別物にしていくことにしたい。

では子育て世代包括支援センターについては先ほどの学校経験者の方の部分について、また確認をさせていただきたい。

今、保育所やPTAの方との意見交換、ヒアリングを計画しているが、その項目について今後掘り下げていって提言に向けていくのか。そういう話は出たが。ということは、今時点で提言に持っていく内容がテーマとしては出てきてない状況で皆思っているのか。全く白紙の状態。

岡本委員  
柳楽委員長

ここで休憩を取ってもらえないか。そこで話をさせてほしい。  
了解した。ここで休憩を取りたい。

[ 09時 51分 休憩 ]

[ 10時 12分 再開 ]

柳楽委員長

委員会を再開する。皆の意見の中で、今後コロナの影響を受けている子ども、保護者との意見交換と執行部の話などを聞いて、また今後できれば視察へ伺った先でいろいろな説明を受ける中で、こういったものが必要ではないかというところを要望や申し入れの形にできれば、という方向で進めていきたい。

ただ、各委員の中でも、自分は子育て支援の中でこれがすごく必要だという強い思いを本当はそれぞれお持ちなのだろうと思う。今後、強い思いのある部分をもっと表に出していただけたら助かる。

では今後、いろいろな調査を進めていく中でまた検討していくことにさせていただきたい。

それでは最後に、今も話に出ていた視察について。今のところは、



柳楽委員長

今月からは中国管内、マイクロバスで行ける範囲でとなっているが、今お話しさせていただいた吉賀町、また副委員長が三次市はどうだろうかと案を上げている。皆から候補地の提案はあるか。

吉賀町までここから約2時間。吉賀町から三次市まで約1時間半で行けるようなので、日帰りで視察できるかと思う。三次市まで行き、まだ行きたいところがあれば。

とりあえず今出ている吉賀町と三次市は視察項目に入れるということではよろしいか。

( 「はい」という声あり )

日程は、前回5月10日の週にという話があった。皆、よろしいか。

( 「はい」という声あり )

では一応この10日から14日の週で相手方の都合を確認していただき、もう1か所については田畑委員と副委員長とで考えて。

できるだけ効率的に行くほうがよいと思う。吉賀へ行って三次に行ってそれで1日。次の日も近い自治体であればその日に2か所行けるかもしれない。やはりその可能性を考えると1泊2日が適切かと思っている。

では一応そういう形で。場所については幹事に検討していただきたい。よろしく願います。

沖田委員  
柳楽委員長

先ほど5月15日と言ったが、4月15日の間違いである。

P T A連合会の会合が4月15日ということなので、早く進めば4月中に意見交換ができるかもしれない。どちらにしても確認させていただき、また皆にお知らせしたい。

## 2. その他

柳楽委員長

そのほかに皆から何かあるか。

( 「なし」という声あり )

では、以上で福祉環境委員会を終了する。

( 閉 議 10 時 22 分 )

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

福祉環境委員長 柳楽 真智子 ㊞